

公益社団法人 日本地震工学会 第3回社員総会ならびに名誉会員 推挙式・各賞贈呈式・受賞記念講演及び特別講演会報告

横井 俊明

●国立研究開発法人 建築研究所

／塚本 良道

●東京理科大学

公益社団法人日本地震工学会第3回社員総会ならびに講演会・贈呈式・特別講演が、平成27年5月22日（金）14時00分から17時20分、建築会館ホール（東京都港区芝5丁目26番20号）において開催された。また、一連の行事の終了後、会員相互の親睦を図るため、17時30分よりロビーにて懇親会が催された。

第3回社員総会（14時00分～17時20分）

1. 総社員総数：1,254名
2. 出席社員数：731名
3. 出席代表理事・監事（敬称略）

会長：安田 進

出席理事（平成26年度理事・監事）

安田 進会長、山崎文雄副会長、志波由紀夫副会長、新海元、副島紀代、和泉信之、佐藤正行、藤川智、藤原広行、鳥井信吾、年縄巧、横井俊明、久田喜章、古屋治、境茂樹、澤田純男、片岡正次郎、塚本良道

出席監事 五十嵐克哉、小林信之

出席理事（平成27年度就任）

目黒公郎、中埜良昭、倉本洋、吉見雅行、大堀道広、中村いずみ、楠浩一、中村友紀子、室野剛隆、原田健二、高橋郁夫

出席監事（平成27年度就任）勝俣英雄、中村晋

4. 議長：代表理事（会長）安田進
5. 議事録作成：理事・横井俊明、理事・塚本良道
6. 第3回社員総会：

1) 開会及び議長選任の経過

司会を担当する新海理事が開会を、続いて公益社団法人日本地震工学会第3回社員総会は同会定款第4章第14～第18条により、定足数を満たしたので、成立する旨を宣言した。定款第15条により、議長は代表理事・安田進会長があたることを宣言した。

2) 会長挨拶

社員総会の先頭を切り安田会長より挨拶がなされた。

3) 議事経過

議長のもと、以下の議案に基づき審議が行なわれた。

議案

第1号議案 平成26年度事業報告（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

新海理事により報告され、質疑応答は無く、満場拍手により議決を確認した。

第2号議案 平成26年度収支決算報告、監査報告

和泉理事により収支決算が報告された。とくに、正味財産は3153万円、実質次期繰越金は609万円であることが報告された。続いて、五十嵐監事により、「適切な業務運営・会計処理がなされている」旨の監査報告がなされた。質疑応答は無く、満場拍手により議決を確認した。

第3号議案 平成27年度 理事及び監事の選任（任期：平成28年5月31日まで）

新任監事 勝俣 英雄 氏（大林組）

中村 晋 氏（日本大学）

新任理事

大堀 道広 氏（福井大学）

甲斐 芳郎 氏（高知工科大学）

楠 浩一 氏（東京大学地震研究所）

倉本 洋 氏（大阪大学大学院）

高橋 郁夫 氏（防災科学技術研究所）

中埜 良昭 氏（東京大学生産技術研究所）

中村いずみ 氏（防災科学技術研究所）

中村友紀子 氏（千葉大学大学院）

原田 健二 氏（不動産トラ）

室野 剛隆 氏（鉄道総合技術研究所）

目黒 公郎 氏（東京大学生産技術研究所）

吉見 雅行 氏（産業技術総合研究所）

質疑応答はなく、満場拍手により議決を確認した。また、退任理事が紹介され、会場の拍手をもって在任中の労をねぎらった。

会 長 安田 進 氏

副会長 山崎 文雄 氏

福和 伸夫 氏

理 事 新海 元 氏

和泉 信之 氏

鳥井 信吾 氏

年縄 巧 氏

横井 俊明 氏

久田 嘉章 氏

境 茂樹 氏

塚本 良道 氏

古屋 治 氏

第4号議案 平成27年度選挙管理委員会委員の選任

正会員の中から理事会で選考された4名の選挙管理委員会委員、

加藤 研一 氏(小堀鐸二研究所)

藤川 智 氏(清水建設)

長島 一郎 氏(大成建設)

村井 和彦 氏(戸田建設)

の選任を満場拍手により議決した。

第5号議案：平成27年度役員候補推薦委員会委員の選任

正会員の中から理事会で選考された10名の役員候補推薦委員会委員、

坂本 成弘 氏(大成建設)

末富 岩雄 氏(エイト日本技術開発)

佐藤 清隆 氏(電力中央研究所)

保井 美敏 氏(戸田建設)

古屋 治 氏(東京都市大学)

運上 茂樹 氏(土木研究所)

清野 純史 氏(京都大学)

鈴木 康嗣 氏(鹿島建設)

高橋 徹 氏(千葉大学)

三輪 滋 氏(飛鳥建設)

の選任を満場拍手により議決した。

第6号議案：名誉会員の推挙

正会員・久保 哲夫 氏

正会員・川島 一彦 氏

の推挙を満場拍手により議決した。

第1号報告：平成27年度事業計画

副島理事より平成27年度事業計画が報告された。総会資料掲載事項に加えて、普及活動へのスペシャルアドバイザー制度の活用、ゴルカ地震(ネパール)への対応、今年度内閣府の監査が入るのでいっそうの円滑な運営に努める旨、また、来年度の選挙の為の準備を今年度から進めていく旨の説明がなされた。

第2号報告：平成27年度収支予算

佐藤理事より平成27年度収支予算が報告された。

事業活動収入・支出 2440万円

投資活動収入80万円(支出なし)、地震災害調査積立金取崩50万円と指定寄附金取崩30万円に由る。

4)閉会

以上で総会の議案の審議を終了し、14時50分に公益社団法人日本地震工学会第3回社員総会を閉会した。

臨時理事会及びその報告(14時50分～15時20分)

上記の総会で承認された理事が集合し、臨時理事会

が開催された。次期代表理事(会長)として、目黒公郎氏、次期業務執行理事(副会長)として、中埜良昭氏、倉本洋氏を選任した。約20分の休憩を挟んで、社員に報告した。続いて、目黒次期会長より挨拶がなされた。



次期会長

名誉会員推挙式・各賞贈呈式・受賞記念講演及び特別講演会(15時20分～17時20分)

社員総会に続いて、平成26年度各賞の贈呈式および記念講演が行われた。

1. 名誉会員の推挙式

総会第6号議案で名誉会員として推挙した

久保 哲夫 氏

川島 一彦 氏

に、安田会長より認定証が手渡された。



新名誉会員

2. 平成26年度功績賞、功労賞、感謝状の贈呈式

安田会長から、下記受賞者に各賞の賞状が手渡された。受賞理由は、当学会のホームページに詳述されている(<http://www.jaee.gr.jp/jp/members/prize/>)。

功績賞：名誉会員・入倉 孝次郎 氏

(京都大学名誉教授)

国立研究開発法人 建築研究所

功労賞：正会員・福喜多 輝 氏(清水建設)



功績賞受賞者



論文賞受賞者



功労賞受賞者



論文奨励賞受賞者

3. 論文賞・論文奨励賞の贈呈式・記念講演および特別講演

安田会長から受賞者に各賞の賞状が手渡された。受賞理由については、上述の当学会のホームページに詳述されている。贈呈式に続いて、受賞者による記念講演が行われた。

論文賞：正会員・他谷 周一・翠川 三郎「構造種別を考慮した鉄道構造物の地震被害関数の検討（第13巻第2号特集号「2011年東日本大震災」その3、2013年3月掲載）」

論文奨励賞：正会員・奥野 峻也「東北地方太平洋沖地震の津波被害現地調査結果に基づく非住家建物を対象とした津波損傷度曲線（第14巻 第5号、2014年11月掲載）」

論文奨励賞：正会員・加藤 一紀「矢板壁による既設住宅の液状化対策に関する研究（第14巻 第4号、2014年8月掲載）」

4. 特別講演

当学会名誉会員・土岐 憲三氏（立命館大学）により、特別講演「地震の活動期 - 日本地震工学会の役割 -」が行われた。



特別講演 土岐 憲三氏